

●協働のまちづくり

今後のまちづくりにおいては、町民の発想と活力で、地域の課題を自ら解決する実践が求められます。

特に、福祉・環境・防犯などは、地域において、住民と住民、企業と住民、学校と住民などの多様な連携が必要となってきます。「身近な地域から、よいまちをつくる」ことを、住民と行政の協働でより一層実践することが求められます。情報化の進展等に伴い、都市部であれ、農山漁村部であれ、生活様式や価値観は同様に多様化しています。小さな協働をいくつも生み出すことで、町民と行政のパートナーシップを築いていくことが求められる時代になると考えられます。

●地域力の向上

本計画策定の一環として実施したまちづくり住民意向調査の結果からは、行政による情報公開の積極化、行政と町民等の対話の拡充といった町側の対応課題が指摘される一方で、町民のまちづくり意識の啓発といった町民側のまちづくりに対する態度が消極的であるといった自らの課題も多くの町民によって指摘されています。

多様な人材を地域の中から発掘することは勿論、町外から人材を招き入れる柔軟性、開放性をより高めていくこと等が重要であり、様々な主体が連携して、地域力を高めていくことが求められています。



第2編

基本構想

第1章 南三陸町のまちづくりが目指すこと

1. まちづくりの基本理念
2. まちの将来像
3. まちづくりの視点

第2章 人口・経済等の見通し

第3章 土地利用のあり方

第4章 施策の大綱